

2008 年度

科目名 社会調査法 B	対象学科・学年 人間人社 2 回生	担当者 井上 徹
授業テーマ 社会現象を科学的に探求する		
授業の概要と目標 社会調査で得られたデータを如何に分析し、解釈するかを、具体的な事例と実習を交えて講義する。まず量的分析の基本である単純集計から始まり、母集団と標本の考え方、それに基づく推定、2 つの群を比較する方法。特に社会調査でよく使用されるクロス表の使用法について詳述する。さらに質的データの分析方法についても述べる。		
評価方法 出席（30％）＋レポート（30％）＋筆記テスト（60％）		
テキスト 実務入門 図解アンケート調査と統計解析がわかる本	著者 酒井 隆	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. データ分析の考え方 計数値、計量値 2. データの整理と集計（1） 単純集計 3. データの整理と集計（2） グループ別集計 4. 推定と検定（1） 母集団の推定 5. 推定と検定（2） 統計的検定の意味 6. クロス表の分析（1） 2つの群の比較 7. クロス表の分析（2） 比率の差の検定 8. クロス表の分析（3） エラボレーション 9. 関連の強さ（1） 相関関係 10. 関連の強さ（2） 関連性係数 11. 因果関係を考える（1） 因果分析 12. 因果関係を考える（2） パス解析 13. 質的データの分析（1） 質的データの整理方法 14. 質的データの分析（2） ドキュメント分析 15. まとめ 分析結果の考察について		